

決算審査特別委員会

町道坂東環状線は

議員 通学路緊急対策事業の町道坂東環状線の八幡神社裏の工事は。

産業建設課課長補佐

坂東環状線は、工事用道路に着手している。あわせて、橋梁設計や用地買収を行っている。

県道坂小屋浦線工事は

議員 県道坂小屋浦線県営工事負担金があるが令和4年度工事は。

県道推進室長

高架橋の下部工事を行っている。用地買収1件で1工区は100%となった。

釜ヶ谷法面設計・工事は

議員 釜ヶ谷公園法面改修実施設計と改修工事は。

都市計画課係長

釜ヶ谷法面改修工事費の令和4年度は前払いで令和5年度に繰り越していたが、5年度に工事は完了した。

ICT支援事業は

議員 ICT支援業務は。

学校教育課主幹

卒業生と新入生の移行やタブレット使用の際の支援である。

校務支援システムは

議員 校務支援システム費が増えているが。

学校教育課主任

教員が成績、出席管理などを効率的に行うもので、令和4年度使用開始で5年契約である。

学校教育課長

各学校で違っていた校務を一元化することで、業務量が減り、子どもと向き合う時間を増やすことができる。



坂東環状線の八幡神社裏の工事が始まりました

町民センター改修工事

議員 町民センターの改修工事は長寿化計画による改修工事か。

生涯学習課係長

長寿化計画に基づく改修である。今後は小規模な改修はある。

生涯学習課長

大規模改修をする際に国の制度を利用するには、長寿化計画が必要である。

繰越明許や事故繰越しは

議員 ハード面は繰越明許や事故繰越しが多く事業が完了していない。ソフト面は執行しても不用額が多いが。

町長

全般的には社会情勢が厳しいので、ハード事業は、発注入札の際、人手不足もあり、応札できないこともある。ソフト面は、一定以上の予算を確保していないと、迅速に対応できないことがある。

審査意見書

一般会計

物価高騰等で厳しい経済状況の中、坂町くらし応援クーポン券事業や給食費支援事業、中小企業等支援事業など、迅速かつ積極的に努められ、さらには、念願であったベイサイドビーチ坂の物販・飲食施設を整備されたことを高く評価する。財政健全化判断比率も計画的な財政運営で、健全な比率を維持しており、評価し認定する。

特別会計

国民健康保険事業 県単位化に伴い、県が責任主体として、財政運営を行っている。町は保健事業を推進し、保険給付の適正化に積極的に取り組み、成果を得ていることを評価し認定する。

全て認定

下水道事業

受益者負担金および使用料の滞納など課題があるが、町内の自然環境保護、町民の生活環境向上および資金不足のない安定経営を行っていることを評価し認定する。

介護保険事業

介護サービス給付費は、前年度比概ね横ばいとなっている。また、介護予防事業にも継続的に取り組んでいることを評価し認定する。

後期高齢者医療

県広域連合が運営主体で、町は保険料の徴収と窓口業務を適切に行っており認定する。

9月4日第8回定例会

議員発議で

坂町議会議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例制定

坂町議会議員の職責および町議会への町民の信頼の確保のため、議員が療養等の理由で長期欠席のために議員の職責を果たせない場合は、当該議員の議員報酬および期末手当の支給について、減額または一時差し止める規定。

7月3日第7回臨時会

①財産の取得 消防団の小型動力ポンプ12台を3235万円で購入した。納期は令和5年12月8日。②補正予算1102万円 拠点避難場所である坂中学校へのエレベータを設置するための設計業務を委託する。

令和5年度 一般会計補正予算

くらし応援クーポンなど

約3億7660万円を追加補正

予算総額74億3263万円に

主な収入

地方交付税 4928万円 国庫負担金・補助金 2132万円 県補助金(民生費・商工費) 5511万円 基金(大規模)繰入金 1億257万円 前年度繰越金 3億6904万円 町債(借金・臨時財政対策債) 2033万円 町債(借金・教育債・災害復旧債) 510万円

主な使い道

財政調整基金積立金 1億8500万円 公立学校情報機器整備基金積立金 4000万円 自治体情報システム標準化推進事業 835万円 広島県後期高齢者医療広域連合療養給付費 1251万円 地域医療介護総合確保事業 3349万円 坂町くらし応援クーポン券事業 3940万円 物価高騰等中小企業支援緊急対策事業 1751万円

補正予算の質疑

基金積立は

議員 財政管理費で積立金が2億2500万円あるが、財政調整基金は何でも使えるのか。

企画財政課長

財政調整基金は前年度繰越金(3億6904万円)の2分の1以上を積み立てることになっている。税収減、災害などの不測の事態に備え、積み立てている。

公立学校基金は令和2年に整備した端末機の更新時期が5年で、5年間で2億円を積み立てる。

くらし応援クーポン

議員

くらし応援クーポンは第2弾ということであるが、前回小屋浦地区などは使う店がなく、使い勝手が悪いという声があったが、使いやすいかなのか。また、発行計画は。



全店舗使用可能券



小規模店舗専用券

物価高騰応援は

議員

物価高騰等中小企業支援対策は法人10万円、個人5万円ということであるが対象数は。

産業建設課長

対象は法人124社、個人100人を予定している。